

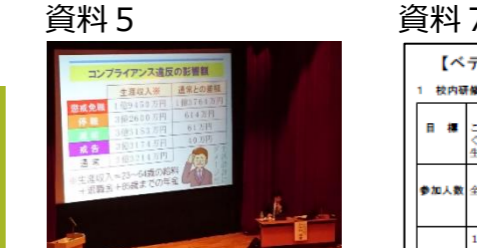
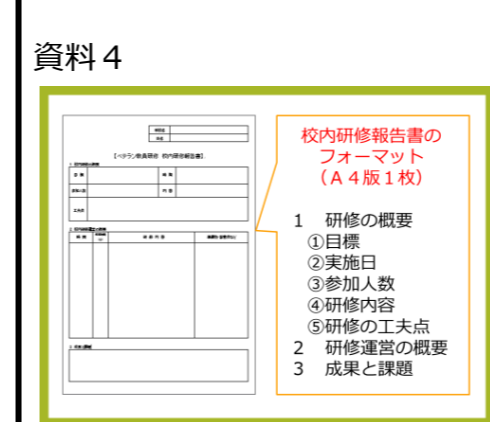
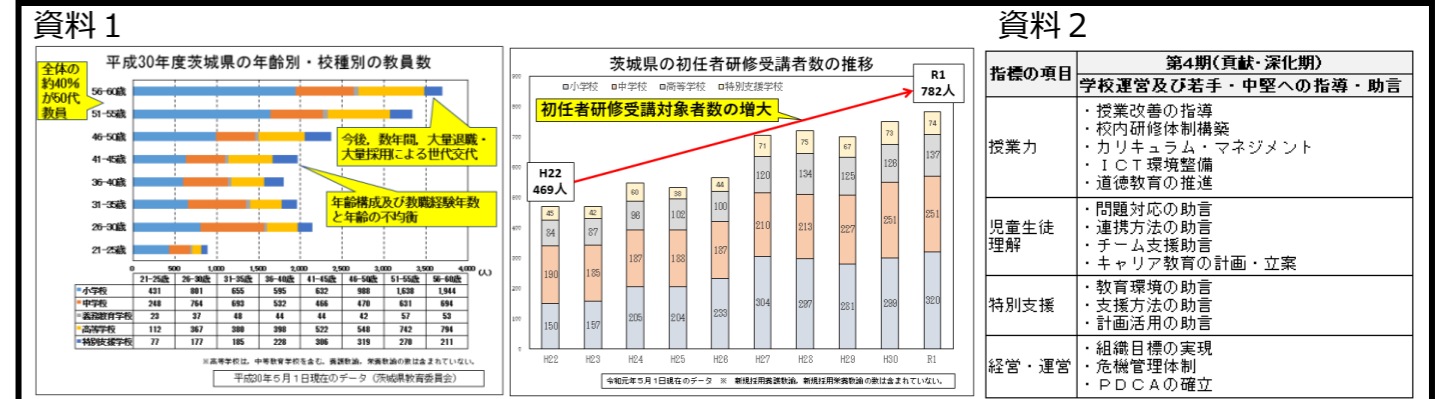
※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-99

<p>校内研修プログラム開発・実践部門</p>	<p>茨城県教育研修センター 吾妻俊昭 令和元年度第 1 回学校組織マネジメント指導者養成研修</p>
<p>ベテラン教員の資質向上 指標に基づく研修プログラムの開発</p>	
<p>解決すべき課題 教職員の大量退職とそれともなう若手教員の採用の増加により、年齢構成及び教職経験年と年齢の不均衡が問題となっている。(資料 1) 教育公務員特例法等の一部を改正する法律により、教員がキャリアステージに応じて修得がもたえられる資質・能力を明確にした指標の策定と、それに基づく教員研修計画の構築が求められた。これらのことから、解決すべき課題を学校で中核となるリーダーの育成とし、第 4 期(貢献・深化期)においてベテラン教員の資質・能力を明確にした指標を作成した。(資料 2)</p>	
<p>目標・方針 中堅教諭等資質向上研修後の研修リーダーの育成(若手・中堅教員への指導・助言ができる資質・能力の向上)と、そのリーダーによる校内研修の場を設定し、実施、評価することで校内研修の充実を図る。(資料 3)</p>	
<p>活動内容 ・集合研修(本研修センターで 2 日間実施)では、第 1 日に、講義「これからの学校に求められるベテラン教員の役割」、講義・演習「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導」、講義・演習「カリキュラム・マネジメントの推進」を実施する。第 2 日に、講義「教職員の信用失墜行為の事例」、講義・演習「教職員の生活設計」、講義・演習「学校の危機管理」を実施する。 ・校内研修では、集合研修で学んだ研修の進め方を基に、PDCA サイクルで校内研修の企画・運営を行う。研修を行う留意点として、NITS の動画「校内研修シリーズ」を活用したり、取組の視点を確認したりしながら校内研修を推進する。 ・研修評価では、校内研修の成果と課題を振り返る。フォーマットを基に、A 4 版 1 枚で校内研修報告書を作成する(資料 4)</p>	
<p>活動の成果 ・集合研修では PDCA の進め方や外部資源の活用などを理解して校内研修に生かすことができた。また、公認会計士による生涯賃金等の講義を通して自らのライフプランについて考えることができた。(資料 5) ・校内研修では NITS の動画「校内研修シリーズ」を活用することで、短時間で内容の濃い研修にすることができた。(資料 6) 受講者は校内研修を企画・運営することで学校運営への参画意識を高めることができた。 ・研修評価では成果と課題を個人で振り返るだけでなく学校全体で共有できた。次年度に向け新たな課題解決を図る計画につなげることができた。また、汎用性の高い実践例をホームページで発信した。(資料 7) ・受講者の感想からは学校運営への参画意識の向上やマネジメント力を身に付ける必要性についての感想が多く見られたことから、学校の中核となるリーダーとしての自覚と使命をもつことができた。(資料 8)</p>	
<p>アピールポイント(アイディアや工夫) ・受講者 492 人の校内研修報告書のデータを蓄積し、他校でも取り組めるような汎用性の高い校内研修をホームページで発信して、今後の校内研修の推進につなげる。 ・研修効果を上げるために、定年退職から逆算して残り 15 年間で勤め上げる「満 45 歳」の悉皆研修とした。 ・受講者のライフプランへの意識を高めるとともに、信用失墜行為が本人や家族に及ぼす影響を生涯賃金のシミュレーションを通して考え、コンプライアンス意識の向上を図った。</p>	



資料 8

受講者の感想から

- ・学校の中で担う役割について改めて考えることができた。
- ・学校の課題を見つけ、課題解決するために学校組織を動かすマネジメント力を身に付けていきたい。
- ・コンプライアンス違反が収入に与える影響を認識できた。
- ・学校組織というものを大きな視点で見たり考えたりする年齢にきたのだと再認識した。
- ・学校全体が一つになって力を合わせて学校運営に参画することで、子供たちの幸せに近づくと感じた。

資料 7

【ベテラン教員研修 潮来市立証方小学校 校内研修報告書】

1 校内研修の概要	目的	学校生活における具体的な場面などで危険が潜んでいる。事故を未然に防ぐための具体的な案を考え、今後の指導に生かすことができる。	時間	2月7日(木) 16:10~16:30 2月21日(木) 16:10~16:30
	参加人数	全教職員(21名)	内容	1 伝達練習「学校の新たなリスクについて」 2 協議「学校のリスクマネジメント」(1)個人 (2)グループ
	工夫点	1 協議は、短時間で効果的な話し合いができるように、2回に分けて行い、個人での意見の指導の振り返りや考察の時間を十分に取ってから、グループ協議に参加できるようにした。 2 話し合いの振り返りと思案への指導を発達段階に応じて共通実践できるように、グループを経験年数の異なるブロックごととした。		
2 校内研修運営の概要	時間	所要時間(分)	研修内容	準備物・留意点など
	16:10	5分	1 進め方の確認	○ グループの司会や発表者などはあらかじめ分限しておく。
	16:15	10分	2 伝達練習「学校の新たなリスクについて」	○ 過去の事例を確認し、協議の参考とする。
	16:25	18分	3 協議 テーマ:「学校のリスクマネジメント〜排除の時間に向き合う〜」 (1)個人検討:5分	○ 協議のポイント ①危険箇所 ②発生する可能性のある事故 ③事故防止対策 ・資料(印刷物)
	2月21日 16:10	10分	(2)グループ協議:10分	○ 事故防止対策を重点に話し合う。 ・4, 5人×3グループ
	16:20	10分	4 まとめ 各グループの発表	○ 今後の対応策を確認する。
3 成果と課題				

○ 情報や資料を、教職員に適切に提供し、伝達もできた。
 ○ 個人での意見の指導の振り返りや考察を十分に行い、学校生活におけるリスクをどのようにコントロールしていくのか考える良い機会となった。
 ● いろいろな場面での危険箇所と安全管理を分析し、取り組むことができる対応については全員で行っていく必要がある。